



仙台広瀬川ワイズメンズクラブ 2023年10月号ブリテン

通算第145号 2023. 10. 27



事務所 〒980-0822 仙台市青葉区立町9-7 仙台YMCA内

TEL: 022-222-7533 FAX: 022-222-2952

Email: otada@mail.tohoku-gakuin.ac.jp 書記 多田 修

ブリテン: <http://ys-east.jimdo.com/bulletin/sendaihirosegawa/>

第1例会: 毎月第3水曜日・第2例会: 毎月第1水曜日 仙台YMCA 18:30

2022—2023年度 主題 (Theme)

国際会長: (IP) ウルリック・ラウリドセン(デンマーク) 「輝かそう、あなたの光を」
アジア太平洋地域会長: (A・P) 利根川恵子(川越クラブ) 「変革のための光となろう」
東日本区理事: (RD) 山田公平(宇都宮クラブ) 「未来のために今、学びと気づきを!
未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」
北東部長: 大久保 知宏(宇都宮) 「ユースと共にクラブのミッションをそだてよう」
仙台広瀬川クラブ会長: 菅野 健 「震災とコロナを乗り越えた力でワイズとYMCAの協働を進めよう」

今月の聖句

『わたしたちが愛するのは、神がまずわたしたちを愛してくださったからです。』

ヨハネの手紙一 4章 19節

加藤 雄一

巻頭言

ちよっぴり昔の仙台を巡る「時間旅行」

門脇秀知

毎週、テレビ番組の「ブラタモリ」を観るのを楽しみにしています。その土地、地域の成り立ちや変遷を分かりやすく、愉快に紹介してくれ、また、女性のアシスタントとの軽妙な掛け合いも楽しみの一つです。最近、『東京オリンピックが開催された年の仙台「昭和39年の仙台地図帖」』が発刊(59年ぶりの復刊)されました。副題には「あの頃の記憶を重ね、あの頃を歩く」と記されてあって、つい手を伸ばして購入してしまいました。ページをめくりながらオリンピック後の高度経済成長で変わっていった仙台、2度の震災を経た現在の仙台の姿なりを重ね合わせて、まるで地図を使って過去と現在を行き来するかのようになっています。

以前購入した古田義弘著「城下シリーズ」3部作を再度読みたくなった。本作は東日本大震災後に発刊された本ですが、著者の「貴重な財産である文化財に対する関心をもって頂き、少しでも心の潤いになっていただければ」という思いが読者に十分に伝わってきます。

今年は短い秋となりましたが、地図を片手に街歩きをするグループを見かけることがあります。この頃はコロナの感染も落ち着いてきましたので、散歩がてら自分の時間旅行を楽しんでみてはいかがでしょうか。

2023～2024 年度 クラブ役員					
会 長	菅野 健	メネット副会長	加藤 真紀子	ユース	佐藤 健吾
副 会 長	加藤 研	地域奉仕CS	阿部 松男	YMCAサービス	門脇 秀知
書 記	多田 修	地域奉仕CS	佐藤 健吾	YMCAサービス	佐藤 善人
書記補佐	増山 和憲	会員増強EMC	加藤 研	ブリテン	増山 和憲
会 計	多田 修	会員増強EMC	清水川 洋	ブリテン・聖句	加藤 雄一
会計補佐	多田 純子	DBC	菅野 健	ドライバー	増山 和憲
監 査	加藤 雄一	DBC	村井 伸夫	担当主事	増山 和憲
メネット会長	多田 純子	ユース	佐藤 剛		

10月第1・第2合同例会 強調月間：EMC-E/YES							
在籍者	12名	出席者	5名	メイキャップ	0名	出席率	41%
メネット	1名	ゲスト・ビジター	0名	ニコニコ	4,000円		

◆10月第1・第2合同例会報告◆

日 時：10月4日（水）18：45～

場 所：仙台YMCA立町会館

参加者：加藤研メン、加藤雄一メン、菅野メン、多田メン、多田メネット、増山

・菅野会長より11月に行われる留学生による日本語プレゼンテーションに向けて様々協議していきたいという挨拶があり、10月第1・第2合同例会が始まりました。

【協議事項】

1)「日本語でプレゼンテーション」計画について

・今年度で3回目を迎える日本語プレゼンテーションについて、加藤研メンより、『案内』『予算案』『プログラムの流れ』について説明がありました。3回目となる今年度は、まだ何名の留学生が参加するか未定のため概算となりましたが、今後、加藤研メン、国際ホテル専門学校教務の小林さん、校長の加藤雄一メンで、参加者やプレゼンテーションの内容などをつめていくことになり、11月第2例会でも協議されることになりました。他クラブの会長やゲストへの案内については、多田メンが行うことになりました。

【決定事項】

日 時 2023年11月18日（土） 13：00～14：50

場 所 仙台YMCA4階ホール

報告・連絡では、仙台YMCAクリスマス実行委員の多田メネットより12月1日（金）に行われ、コロナ禍以前の様に、食事を提供するという事の報告がありました。

担当職員の前山より、9月23日（土・祝）に行われたチャリティーランへ協力いただいた事への感謝と、国際・地域協力募金のじゃがいも・かぼちゃ・玉葱販売について案内をしました。

（報告者：増山）

リーダーズフォーラム感想

第35回リーダーズフォーラムが、9月29日～10月1日に東京YMCA山中湖センターで行われました。仙台YMCAからも2名のユースリーダーが参加し、多くの仲間との交流を通して学びがあったようです。今回は、参加したユースリーダーより参加した感想をいただきました。何よりも、支援をいただいたワイズの皆様に心より感謝申し上げます。

(報告者：増山)

佐々木耀子リーダー（東北福祉大学2年）



9月29日から10月1日の3日間に東京YMCA山中湖センターで行われたユースボランティアリーダーズフォーラムに参加しました。豊かな自然に囲まれ歴史あるキャンプ場で基調講演やグループタイム、レクリエーションを通して多くの学びと新しい視点を得ることができました。自分のグループでは基調講演をきっかけに3日間の日程を「当たり前とは何だろう」という観点を基盤に様々な話し合いを重ねました。そのために、各々の生い立ちを見つめなおし、今の自分を作っている出来事についてグループメンバーに伝え、互いに共感しあえました。そして、テーマであった「私たちにとっての みつかる。つながる。よくなっていく。」に関連付けて考え、最終日には劇形式でグループ発表を行い、3日間の有意義な話し合いの時間を振り返るととても贅沢な時間であったと思ひ起こされます。効率や正確さを求められることが多くなってきている社会の中で、ひたすらに答えの出ない話し合いが出来るのが、当たり前ではないという事も学びのひとつとなりました。

今回のグループメンバーとの交流を経て活動の拠点が遠く離れていたとしても、それぞれが努力し頑張っているという事を実感することが出来ました。また、リーダーとしての視点以上にキャンプ等に参加するメンバーとしての視点を経験することができました。そのことで、自分自身のリーダーとしての在り方を考えるきっかけとなりました。そして、今回のフォーラムで出会った方々とつながりや他者と共感し高め合うという経験を今後の活動でどのように生かすことが出来るのかと奮い立つと同時に、リーダーとしてYMCAに携わることが出来てよかったと心から思えました。

中澤夢太リーダー（尚絅学院大学2年）



第35回ユースボランティアリーダーズフォーラムを通して、野外活動などの分野に加え、様々な分野で子どもたちと一緒に活躍しているリーダーとの活動ができたこと、その活動の中でYMCAリーダーとしての自分を改めて見つめ直す

ことができたことが大きな学びになったと考えました。

第1に、様々な分野で活動するリーダーたちと出会えたことについて、私自身仙台YMCAでは、野外活動で活動することが多く、他のプログラムに参加することはありませんでした。しかし、積極的にYMCAに関わっているリーダーたちの姿を見て、どこか活動に対して奥手であった自分もやってみようという気持ちになり、これはこれからのリーダー活動の大きな一歩になると考えました。

第2に、基調講演「私たちにとっての みつかる。つながる。よくなっていく」を通してのグループタイムを行い、その中でリーダーと子どもたちの関係は、教える・教わるだけでなく、子供たちとの関わりを通して、リーダー自身も成長し、次につなげることができるといったお互いに学ぶ関係性であると改めて知るきっかけになりました。

以上が、ユースボランティアリーダーズフォーラムで私が学び、考えたことですが、その中で最も参加してよかったと思えることは、グループタイムや三日間の生活の中で積極的に行動できたことです。それまでは誰かと話すこと、関わっていくことに対して、積極的ではなかったですが、フォーラムから行動することの重要性に改めて気が付くことができ、今後の活動の一歩になるなど、私にとっての「みつかる。つながる。よくなっていく。」リーダーズフォーラムでした。

チャリティゴルフ報告

まさにゴルフ日和の10月19日（木）泉国際ゴルフ倶楽部において第26回仙台YMCAチャリティゴルフが開催されました。

参加者は、88名（職員2名含む）。北は北海道から南は大阪までの皆さんが参加して下さいました。いつもご協力いただいているさとう宗幸さんや各地のワイズの皆さん、役員の方々の皆さんなどのお顔も見ることができました。ご参加いただいた方は勿論のこと各種ご協賛ご協力をいただいた皆様に厚く御礼を申し上げます。

収益金は、子どもたちの夏の命を守るために毎年作成され、仙台や女川、富谷の子どもたちに配布されているウォ

ーターセイフティハンドブック 2024 購入費用や養護施設などの子どもたちをキャンプに招待する費用、リーダー育成のために使われます。

(報告者：加藤雄一)

第3回日本語プレゼンテーション

今年度で3回目を迎える『留学生による日本語プレゼンテーション』が11月18日(土)13時から仙台YMCA立町会館4階ホールで行われます。

仙台YMCA国際ホテル専門学校の学生たちもプレゼンテーションに向けて準備を進めています。また、広瀬川ワイズも例会の中で流れの確認や記念品などを話し合いながら、開催日当日に向けて着々と準備をしています。

次回、ブリテン11月号で、日本語プレゼンテーションの報告を行います。

※昨年度の様子



今後の予定

- ◆11月1日(水)
仙台広瀬川ワイズメンズクラブ第2例会 18:45~
- ◆11月15日(水)
仙台広瀬川ワイズメンズクラブ第1例会 18:45~
- ◆11月18日(土)
第3回日本語プレゼンテーション 13:00~
- ◆11月19日(日)
山元町イチゴワーク

仙台YMCA通信

◆2024年4月から仙台YMCA幼稚園は1,2歳児の受け入れと全園児への食事の提供を行います。それに伴い11月1日より立町会館の工事が開始されます。

◆山元町イチゴワークが11月19日(日)に実施されます。立町会館出発7:45立町会館解散17:00の予定です。活動内容は未定です。尚、現地集合9:00解散15:00の予定です。ご参加できるときは、広瀬川ワイズ担当職員の増山までご連絡下さい。

◆12月1日(金)に仙台YMCAクリスマスがトークネットホール仙台で行われます。開催に向けて、実行委員会を行いながら準備を進めています。

【編集後記】

2023年度の特活動は、バザー、チャリティーラン、チャリティーゴルフが終了しました。久しぶりに職員やユースボランティアリーダー、学生が集い、力を合わせて物事をやり遂げる素晴らしさをこのような活動を通して感じています。

【K・M】